

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

平成28年03月08日

計画の名称	牧之原市における住宅・建築物及び市街地の安全性の向上（防災・安全）												
計画の期間	平成28年度～令和02年度（5年間）							重点配分対象の該当					
交付対象	牧之原市												
計画の目標	住宅・建築物の耐震化や住宅市街地の防災対策を行うことにより、安全で安心できる住まい・まちづくりを実現する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	61	A	54	B	0	C	7	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	11.47	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (H28当初)	中間目標値 (H30末)	最終目標値 (H32末)
1	住宅の耐震化率を上げる。 住宅土地統計調査等の統計データや事業実施状況をもとに算出する。 (住宅の耐震化率) = (耐震性が確保された住宅数) / (全住宅数) (%)	80%	%	95%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---

A 基幹事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02			
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
住環境整備事業	A16-001	住宅	一般	牧之原市	直接	牧之原市	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	わが家の専門家診断	牧之原市	■	■	■	■	■	14	-	
	A16-002	住宅	一般	牧之原市	間接	牧之原市/ 個人	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	耐震診断及び改修等	牧之原市	■	■	■	■	■	23	-	
	A16-003	住宅	一般	牧之原市	間接	牧之原市/ 個人	-	-	住宅・建築物安全ストック形成事業	がけ地近接等危険住宅移転	牧之原市	■	■	■	■	■	17	-	
											小計						54		
											合計						54		

C 効果促進事業																			
基幹事業 (大)	番号	事業	地域	交付	直接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間 (年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		種別	種別	対象	間接							H28	H29	H30	H31	R02			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
住環境整備事業	C16-001	住宅	一般	牧之原市	間接	個人	-	-	ブロック塀の安全対策事業	ブロック塀除去、改善	牧之原市	■	■	■	■	■	3	-	
	基幹事業の耐震診断及び補強計画と一体的に実施することにより、地震発生時の住宅やブロック塀の倒壊を防止し、市民の避難路を確保する。																		
	C16-002	住宅	一般	牧之原市	間接	個人	-	-	生垣づくり補助金	生垣づくりの補助	牧之原市	■	■	■	■	■	1	-	
基幹事業の耐震診断及び補強計画と一体的に実施することにより、地震発生時の住宅やブロック塀の倒壊を防止し、市民の避難路を確保する。																			
住環境整備事業	C16-003	住宅	一般	牧之原市	間接	個人	-	-	木造住宅耐震補強助成事業	木造住宅の耐震補強	牧之原市	■	■	■	■	■	3	-	
	基幹事業の耐震診断及び補強計画と一体的に実施することにより、市内における木造住宅の耐震化率の向上を図る。																		
											小計						7		
										合計							7		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H28	H29	H30		
配分額 (a)	6	2	2		
計画別流用増△減額 (b)	△3	0	0		
交付額 (c=a+b)	3	2	2		
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0		
支払済額 (e)	3	2	2		
翌年度繰越額 (f)	0	0	0		
うち未契約繰越額 (g)	0	0	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0	0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由					

事前評価チェックシート

計画の名称： 牧之原市における住宅・建築物及び市街地の安全性の向上（防災・安全）

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性	
①計画の目標が基本計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性	
②地域の課題を的確に踏まえた目標となっている。	○
I. 目標の妥当性	
③関連する各種計画（耐震改修促進計画等）との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
①目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
②指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性	
④十分な事業効果が得られることが確認されている。	○
III. 計画の実現可能性	
①事業熟度が十分である。	○
III. 計画の実現可能性	
②民間団体等との多様な連携が図られている。	○